

平成 30 年 10 月 29 日

医療法人弘仁会  
熊本総合医療リハビリテーション学院  
学院長 辻野智二 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 笠岡俊志

### 平成 30 年度 学校関係者評価委員会報告

熊本総合医療リハビリテーション学院学校関係者評価委員会は、平成 29 年度自己点検・自己評価報告書に基付き、学校関係者評価を実施したので、以下のとおり報告します。

#### 記

#### 1. 学校関係者評価委員

委員長 笠岡俊志 (熊本大学医学部附属病院 救急・総合診療部 教授)  
委員 福田靖子 (合志第一病院 リハビリテーション科 科長)  
島崎一也 (熊本回生会病院 リハビリテーション部 渉外・研修部長 兼 作業療法科 部長)  
村上智章 (熊本赤十字病院 臨床工学課 課長)  
浅井裕晴 (青磁野リハビリテーション病院 義肢装具室)  
西岡和男 (熊本市消防局 警防部 救急課 課長)  
古閑千尋 (熊本県立東稜高等学校 副校長)  
木村淳一 (熊本総合医療リハビリテーション学院同窓会 麒麟倶楽部 会長)  
西 孝二 (熊本総合医療リハビリテーション学院後援会 会長)

#### 2. 学校関係者評価委員会開催状況

日時：平成 30 年 6 月 7 日(木) 19:00～20:40

会場：熊本総合医療リハビリテーション学院 1 号館 会議室 2

#### 3. 学校関係者評価報告書

別添「平成 30 年度学校関係者評価報告書」のとおりに

平成 30 年度

学校関係者評価報告書

平成 30 年 10 月

熊本総合医療リハビリテーション学院

## 各評価項目について

### 1 教育理念・目的・教育目標等

#### 現 状 と 課 題

教育理念・目的・教育目標は明確に定め、学則、事業計画等に明記し、学外へは学院案内及び学院ホームページ等により広く開示している。教育理念と教育目標に基付き、各学科において、それぞれの専門性に沿った教育目標を掲げ、医療人育成に向けた教育活動に取り組んでいる。

5学科を擁する多様な医療専門職教育を展開していることや、長い歴史を有し多数の卒業生が地域医療界等で活躍していること、また、学外実習を充実させ、専門職としての実践的な知識と技術を修得させていること、それを可能にする多岐にわたる学外実習施設との連携を有すること等が学院の特色である。

職業実践専門課程において求められている専門教育の更なる充実に向けた取り組みとして、平成28年度に5学科が教育課程を変更した。また、救急救命学科は平成29年度に教育課程の完成年度を迎えたことから、専門教育の重要性に鑑み、教育課程編成委員会の意見・提言を踏まえ、平成30年度入学生からの教育課程を変更した。なお、法人理事会及び職員会議において、学校関係者評価委員会等からの意見・提言を踏まえ、中期的な構想について協議し、事業計画に反映させている。

#### 学校関係者評価委員会の意見・提言

- ・少子化等の影響が学院の定員確保や入学生の資質面での課題となって現れているように思う。同窓会としては、今後長きに亘って学院が存続するよう望んでいる。先生方には更なる教育の質の向上に取り組んで頂くようお願いしたい。
- ・これから先を長期的に見た時に、医療従事者の立場がどうなっていくのかへの不安が、入学希望者の減少に影響しているのかもしれない。今後、団塊の世代が亡くなることでの患者数の減少やAI（人工知能）の発達の影響で、医療従事者の需要が少なくなるのではという不安に対して、医学界から見解を提示することも必要ではないかと思われる。
- ・今後、人口構造とその背景が変わり、人が減っていく中で、医療需要がどう変わっていくのか注目しながら、子供達に夢を与えるような教育を進めていかなければならないと思う。

### 2 学校運営

#### 現 状 と 課 題

教育理念と教育目標に基づく運営方針は明確に定め、事業計画に反映させると共に、職員会議等を通して全教職員に周知している。職員会議及び各種委員会活動による運営体制は組織化されており、各委員会で審議した事項は、職員会議にて報告、承認を得るなど、意思決定システムは明確で、適切に機能している。なお、運営組織のスリム化や業務負担の平準化に向けて、平成30年度から各種委員会等組織の在り方を見直した。

学校関係者評価委員会を開催し、平成28年度に実施した自己点検・自己評価結果に基付き外部評価を行った。学校関係者評価委員会の意見・提言は教育運営に適切に取り入れられている。

教員の採用については、養成施設指定規則に定められた基準を充たす人材を確保しており、賃金制度は、就業規則の給与規程に基付き、各職種等に応じて職務手当等が定められている。なお、学生の成績閲覧システムについては、学内Wi-Fiエリアでの運用を行っている。また、学生の成績、出欠、学籍等を一元管理する教務システムを平成30年度から導入している。

#### 学校関係者評価委員会の意見・提言

意見・提言は特になく、内容は妥当と思われる。

### 3 教育活動

#### 現 状 と 課 題

教育理念、教育目標の達成に向けて、教育課程の編成・実施方針を適切に定め、事業計画に記すと共に職員会議にて周知している。各学科の教育目標、育成人材像は入学者の基礎学力の状況や教育課程編成委員会からの意見等を踏まえ、適切に方向付けている。

教育到達レベルは、国家資格取得という明確な目標に沿って設定しており、各学科の教育内容は養成施設指定規則の基準を充たすと共に、教育課程においては各科目を体系的に位置付けている。

教育目標の具現化に向け、養成施設指定規則に基付く必要資格を有し、的確な専門力と指導力等を持つ教員を確保している。職員の研修等に係る規程に基付き研修を行うと共に、FD（ファカルティ・ディベロップメント）委員会が中心となり、学生による授業評価や学科横断的なピアレビュー等を実施し、教育力向上に繋げている。また、教員は学会等への参加や発表等を通して専門性の向上や指導方法の工夫改善に取り組んでいる。

学生の成績評価・単位認定基準は、学則及び細則において明確に定められ、適切に運用されている。

#### 学校関係者評価委員会の意見・提言

- ・私が勤務する学校（高等学校）では、研究授業の際に、他教科の教員へ参加を呼びかけているが、実際には同一教科の教員だけの参加となってしまう傾向がある。学院では、より専門的な内容について、教員同士が学科横断的にピアレビューを実施されており、凄いことだと思う。
- ・臨床実習は学生にとって大変重要な教育活動だと思う。臨床実習を通して、学生から臨床実習施設側に対する評価があってもよいのではないかと。
- ・私が勤務する病院では、臨床実習での学生の意見が、フィードバックという形で学院から届くようになってきている。臨床実習を受け入れる側としては、学生からの施設に対する評価として参考になっている。

### 4 教育成果

#### 現 状 と 課 題

国家試験対策については、国家試験対策委員会と各学科の連携の下、模擬試験、特別講義、グループ学習への支援等きめ細かに指導している。最終学年での集中的な支援と共に、1年次からの継続的な支援及び成績不振者への計画的な学習支援にも取り組んでいる。教員については質の高い指導に取り組めるよう、国家試験対策委員会とFD委員会の連携の下、国家試験対策研修会を実施している。また、平成29年度は、学外実習等の実技系学習と関連した国家試験対策の強化に向けて取り組んだ。国家試験合格率の推移等については、全国の合格率を把握し、出題傾向の分析等も行っている。

就職支援については、就職説明会の開催、面接指導、履歴書添削指導等、組織的に取り組んでおり、就職率は高く支援の成果が現れている。

また、学会・研修会への学生参加の推奨や障害者スポーツ指導員、福祉住環境コーディネーター、サービス接遇検定等の各種資格取得の推奨等、医療専門職としての付加価値を高める教育に計画的に取り組んでいる。

#### 学校関係者評価委員会の意見・提言

- ・学院では、学生に対して、医療従事者を対象とした学会・研修会への参加を推奨されている。学生にとって、学会等への参加は、学問的な刺激を受ける良い機会になっているのではないかと。参加後の学生の変容も期待できると思われる。
- ・国家資格取得に向けた学習支援の取り組みが、在 student と共に既卒者に対しても行われている。このような対応は非常に大事なことだと思う。

## 5 学生支援

### 現 状 と 課 題

就職支援、進路相談、退学率・卒業率の改善、健康管理等については、学生支援委員会と各学科が連携し、組織的な学生支援活動を展開している。

退学率低減については、1年次を主体にオリエンテーション、ホームルーム、面接、入学前物理授業、国語・数学の基礎学力向上に向けた課外授業等を通して取り組みを進めている。また、成績不振者を対象とした個別的な学力支援活動を組織的に実施している。

学生のメンタルヘルスの問題については、カウンセリング室を設置し、臨床心理士カウンセラーによるカウンセリングを定期的に行っている。また、新入生を対象にメンタルヘルスアンケート調査を実施し、学科毎に面談を行う等、支援を要する学生の早期把握と心理面へのケアに努めている。

奨学金の申し込み案内、緊急採用対象者への対応等、適正な支援体制を整備し、学生の経済的側面からの支援に取り組んでいる。熊本地震で被災した学生に対しては、熊本県が所管する「被災生徒授業料等減免補助事業」による減免措置を行った。

学生の健康診断等については、感染症対策委員会と各学科・学務課が連携し適切に指導している。また、学生の通学の利便性向上のため、スクールバスの運行業務を推進している。

### 学校関係者評価委員会の意見・提言

- ・学院では、退学率の低減に向け、先生方が学習支援や面談等に取り組まれるなど、色々と努力されていると思う。平成29年度の退学率が、前年度に比してやや増加しているのは残念な結果であった。
- ・学生の退学理由の6割を成績不振が占めるということだが、成績不振に至った原因を分析することが、学生をきめ細かくサポートする意味で大切なことと思う。

## 6 教育環境

### 現 状 と 課 題

施設、設備等は関連法による基準を全て満たしており、学生が適切な教育環境の下で学習に取り組むことが出来るよう整備されている。教育機器については、より効果的な学習成果に繋がるよう、各学科と連携を図りながら一定の予算措置に基付き計画的に購入している。

学外実習については、定期的な臨床実習・臨地実習指導者会議の開催や巡回訪問指導等を通して、関係機関と密接に連携を図るなど、教育体制は適切である。また、学外実習における感染症対策については、日本環境感染学会の基準や各学外実習施設の感染症対策等を踏まえながら、感染症対策委員会を中心に適切に対応している。

防災については、防災委員会と各学科の連携の下、防災管理業務の適正な運営を図っている。全教職員を対象に、防災マニュアル等に沿って火災や地震による災害を想定した防災図上訓練及び消火訓練を実施した。また、学校関係者評価委員会からの意見・提言を基に、心肺蘇生を中心とした一次救命処置に関する救護訓練に取り組んだ。防災設備は定期的に点検し、避難経路図及び避難経路標識を掲示するなど、安全確保に向けて防災意識の啓発に取り組んでいる。

### 学校関係者評価委員会の意見・提言

- ・学院は、県下でも非常に早い時期からクリニカルクラークシップ型(診療参加型)臨床実習を導入されている。学院からの啓発活動もあって、導入当初に比べると臨床実習先にも徐々に浸透してきたように思う。実習生を教育する立場として、臨床実習の実施形態が随分変わってきたという実感があり大変感謝している。
- ・臨床実習中に、学生が対象患者と一生懸命にコミュニケーションを取ろうと努力する様子は伺えるが、実習指導者に対してはどうしても遠慮がちになっているようだ。実習指導者とのコミュニケーションもしっかり取れるよう前もって教育することが大切ではないかと思う。

## 7 学生の募集と受け入れ

### 現状と課題

学生募集については、入試課題改善委員会と事務局、各学科の連携の下、高等学校訪問、オープンキャンパス、学院説明会、医療職種説明会等、広範且つ多様な活動を組織的に展開している。

平成 30 年度入学試験においては、試験日程や指定校推薦等に関する評定平均値を見直すと共に、経済的支援として入学金等の減免措置を行った。入学者数については、学科によっては連続して定員を充足できていない状況にあり、次年度の入学者確保に向けた新たな取り組みが検討されている。

学院案内、学院ホームページ等は、志願者・保護者等にとって分かりやすい表現を工夫し、問い合わせ・相談には適切に対応している。学院案内については、学科毎のアピールポイントを「熊リハの魅力」として掲載するなど、全面改訂を行った。就職実績、国家資格取得実績等、教育成果については、学生募集活動等を通して適切に情報提供を行っている。また、Facebook 等のソーシャルメディアを活用した適切な情報発信に努めている。

入学選考については、合否判定基準を明確に定め、入学試験合格判定会議にて適正に選考している。なお、学納金は各学科の定員、教員数等、多面的に検討し決定しており、妥当なものになっている。

### 学校関係者評価委員会の意見・提言

- ・少子化等の影響で学生数の減少が見られる中、学生募集活動については様々な取り組みをされていると思う。
- ・定員確保に向け、高校生よりも中学生を対象に、夢と希望を与えるような医療体験活動等の取り組みを進めるのも良いのではないか。
- ・今の若者は Facebook を殆ど使わず、Twitter や Instagram をよく利用しているようだ。学院の広報活動として、Twitter や Instagram を活用してオープンキャンパスの告知を行えば、若者の目に触れて良いのではないか。
- ・学院のテレビコマーシャルを時々見ることもある。とても良い雰囲気のコマーシャルだと思う。校名が似た学校があるので、本学と分かるように視聴者に強調してはどうか。
- ・高校生の中には、大学での資格取得や就職について、はっきりとした展望を持たないまま進学する生徒もいると思われる。学院の魅力と共に、国家資格取得や就職について丁寧に情報発信することで、大学進学希望者の中から、専門学校に進学し技術を身につけたいと考え直す高校生が出てくるのではないか。

## 8 財務

### 現状と課題

開校 36 年の伝統校として、これまで入学定員を概ね確保できていたが、平成 29 年度に引き続き、平成 30 年度も定員を充足できていない状況にあり、入学定員の確保が課題である。

熊本地震による校舎や教育機器等の設備の被害も、激甚災害に対する公的補助金及び公的長期資金手当等により修復できており、財務基盤は問題ないと言える。

予算・収支計画については、学院事業計画を法人理事会で諮り、年度予算、中期計画等を審議し決定している。

会計監査については、顧問税理士事務所による月次監査等、税理士事務所と連携して適正に実施されている。

### 学校関係者評価委員会の意見・提言

意見・提言は特になく、内容は妥当と思われる。

## 9 法令等の遵守

### 現 状 と 課 題

専修学校設置基準等の関係法令に基付き、学則や就業規則等を整備し、適正な運営がなされている。各種規則等については、教職員へ徹底すると共に、学生に対してはオリエンテーション等で規則遵守を周知している。

個人情報保護については、その重要性について教職員や学生に周知を図ると共に、個人情報保護法に基付き、個人情報保護方針と個人情報保護規程を定め、適切な対策を講じている。また、情報モラルの徹底に向け、ソーシャルメディアポリシーを定め、教職員や学生に周知している。

私立専門学校等評価研究機構の基準に基付き平成 28 年度に実施した自己点検・自己評価の結果に対して、学校関係者評価委員会による外部評価を行った。学校関係者評価委員会からの意見・提言に基付き、学校運営や教育活動の改善に取り組んでいる。

自己点検・自己評価及び学校関係者評価に関する方針は、それぞれ自己評価委員会規則、学校関係者評価委員会規則に明示されており、教職員へも周知している。自己点検・自己評価報告書は職員会議で審議し、学校関係者評価報告書、教育課程編成委員会議事録と併せて学院ホームページで広く公表している。また、教育活動、学校運営の状況に関する情報も学院案内等で広く提供している。

### 学校関係者評価委員会の意見・提言

- ・自己点検・自己評価報告書や学校関係者評価報告書は、卒業後の就職や国家資格取得の実績の背景として、学院の組織的、計画的な取り組みがあることを知る上で、非常に意味のある資料だと思う。

## 10 社会貢献

### 現 状 と 課 題

各学科とも、それぞれの養成する専門職としての特色を活かしながら、関連する行政や職能団体と連携して、社会的活動に積極的に取り組んでいる。

献血への協力や各種ボランティアへの参加等の地域交流においても、全学を挙げて取り組んでおり、外部からの学生ボランティア参加要請については学務課で取りまとめ、ボランティア部へ情報を提供する等、学生のボランティア活動を支援している。また、学校関係者評価委員会からの意見・提言に基付き、ボランティアの活動状況について学院ホームページを通して情報発信している。

### 学校関係者評価委員会の意見・提言

- ・学生が取り組んでいるボランティア活動の状況について、具体的な内容をホームページ等に示すことは良いことだと思う。